

第2学年生活科の実践

1 単元名 おいしくそだて わたしの野さい (全13時間)
 さつまいもパーティーをひらこう

2 単元目標

- ・野菜の栽培に関心をもち、世話の仕方を調べながら、継続的に世話をすることができる。
- ・野菜の成長に気付き、変化の様子や気持ちを表現できる。
- ・収穫の喜びを味わい、食べ方を工夫することができる。
- ・野菜の成長やお世話したことを振り返るとともに、1年生と進んで交流することができる。

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
<p>・野菜の栽培に関心をもち、成長を期待したり喜んだりしながら、愛着をもって継続的に世話をしようとしている。</p> <p>・サツマイモを収穫したことを振り返り、1年生に食べてもらえる喜びを友だちと話しながら、サツマイモパーティーの計画を立てようとしている。</p>	<p>・野菜の作り方について人に聞いたり、自分で調べたりしながら、種類や成長に合わせた世話を工夫をしている。また、成長の様子や気付いたことを絵や文で表現したり、発表したりすることができる。</p> <p>・収穫したサツマイモの調理方法を、本で調べたり人に聞いたりして考え、友だちと相談しながら決めている。</p>	<p>・野菜作りを通して、成長の様子や世話の仕方に気付いている。また、成長と収穫の喜び、世話を上手にできた自分や友達のよさに気付いている。</p>

3 ひびき合う子どもたちをめざすための指導の工夫

研究課題「切実な問題意識をもち、友だちと関わり合いながら学習する児童の育成」

手だて・・・児童の「切実な問題」を見とった授業づくり

ブロックテーマ「人の言動に何かを感じる姿」

「自分の思いや、他者からの刺激に対し、素直に表現する姿」

(1) 単元と指導

①単元について

本単元は、学習指導要領の内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」及び(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流できるようにする。」を受けて設定した。

児童たちが自らの手で継続的に野菜を育てることを通して、身近な野菜に興味・関心をもち、それらが生命を持っていることや成長していることに気付くとともに植物を大切にすることができるようにすることを目指している。

長期にわたる栽培の過程では、児童たちの感性が揺さぶられるような場面が数多く生まれてくる。しかし、児童たちを取り巻く自然環境や社会環境の変化によって、日常生活の中で自然や生命と触れ合い、かかわり合う機会は乏しくなっている。このような現状を踏まえ、生き物への親しみをもち、生命の尊さを実感するために、継続的な栽培を行うことには大きな意義がある。

また、野菜を育てることは、野菜の日々の成長や変化、実りが児童たちに生命の営みを実感させる。野菜を育てることは、継続的に世話をし、繰り返しかかわる過程で、生命あるものを大切にすることをはぐくむ価値ある体験となり、そのことが生命の尊さを実感することにつながる。つまり、1年生の時に花を育てた経験をもとにして、2年生では主体的に野菜とかかわることを通して、それらが生命を持っていることや成長していることに気づく学習である。ここでは、いろいろな野菜を栽培する。一生懸命草取りや世話をし、成長する様子を観察しながら育て、やがて収穫した野菜を料理して食べることは、大きな喜びにつながる。そして、身近な野菜に興味関心を持ち、野菜に親しみながら大切に育てることができるようにすることを目指している。

②ひびき合いについて

毎日の成長の様子や世話の中で気付いたことを観察カードに書いたり、発表したりすることによって、自分なりの思いをもつことができるようにしたい。また、掲示されているカードを見合ったり発表を聞いたりすることで、友達の思いや考えを知り、新たな発見や考えを広げられるようにする。

野菜の栽培活動を通して気付いた成長の様子や世話の仕方、成長や収穫の喜び、自分のよさなどの振り返りをさせる。振り返りを紹介し合うことにより学習がより確かなものになっていく。

「サツマイモパーティー」では、自分たちでできそうなサツマイモ料理を発表させる。それぞれの思いや願いの違いによって意見が分かれるところである。自分たちでできる料理とできない料理を明らかにするときに、対立する考えが出てくる。時間のかかるものや安全面での問題から自分たちでできる料理へと話し合いが進んでいこう。また、グループでお互いに協力しながら作り上げていく姿をひびき合いとしたい。

4 単元指導計画（全14）

学習の流れ	主な支援・留意点・【評価の観点】
<p><u>野さいを そだてよう②</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの育てる野菜を、みんなで話し合って決める。 ○ 育てたい野菜の世話の仕方などについて、いろいろな方法で調べる。 ○ 自分が育てる野菜の苗を植える 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を見たり、1年生のときの経験を想起させたりしながら、育てる植物について話し合わせる。 ・図書室で調べたり、上級生に尋ねたりできるようにする。 ・うがい、手洗いなど、衛生面の指導を徹底する。 ・野菜を収穫することに関心をもち、収穫への期待や思いをもちながら、植物を育てようとしている。 【関心・意欲・態度】 ・植物には、種類によって栽培に適した場所や、植える時期があることに気づいている。 【気づき】
<p><u>野さいの せわをしよう③</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 休み時間などを使って、水やりや草取り、施肥など、継続的に世話をする。 ○ 植物の状態に合わせた世話の仕方を話し合ったり、調べたりして、適切な世話をする。 ○ 世話をして気づいたことや自分の思いなどを、記録カードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の成長に応じて、草取り、施肥、支柱立てなどを、児童と一緒にやるようにする。 ・長期にわたる活動になるので、意欲を持続させる働きかけを、その都度おこなっていくようにする。 ・植物の変化や成長の変化に関心をもち、世話をしようとしている。 【関心・意欲・態度】 ・植物の変化や成長について考え、本や図鑑で調べたり人に聞いたりしながら、植物に適した世話をし、それを記録カードなどに書いている。 【思考・表現】
<p><u>野さいを しゅうかくしよう②</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 熟している野菜を見分け、収穫する。 ○ これまでの世話のことや植物の成長の様子などを振り返りながら、新聞など、自分なりの表現方法を考え、気づいたことなどをみんなに伝える。 ○ 収穫した野菜を家に持ち帰り、家の人と一緒に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熟した野菜ともう少し待つ野菜とを見分けながら収穫させる。 ・春からの記録を見ながら、成長の過程や、世話をできるようになった自分自身の成長について振り返ることができるようにする。 ・野菜によって収穫の時期が異なることや、衛生・安全面への配慮から、保護者に協力を依頼し、家庭で児童とともに調理し、食べてもらう。 ・記録カードなどを見ながら、植物の成長や変化の過程と、これまでに自分がしてきた世話の様子を振り返り、友だちや家の人に伝えている。 【思考・表現】 ・植物の変化や成長の様子に気付くとともに、1年生のときよりも上手に世話ができるようになった自分自身の成長に気付いている。 【気づき】
<p><u>サツマイモを しゅうかくしよう⑤（本時3/5）</u></p> <p>みんなで育てたサツマイモを収穫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サツマイモのつるなどを利用してできる遊びを考え、みんなで楽しく遊ぶ。 ○ 収穫したサツマイモを安全に調理して、食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗を植え、世話、収穫のときの記録カードを見ながら、そのときの思いや感想を想起させる。 ・サツマイモのつるの長さや強さを実感させる。 ・サツマイモを食べる活動を行う際には、衛生・安全面への配慮から保護者に協力を依頼することが望ましい。 ・みんなで育てた植物の成長を喜び、みんなと一緒に野菜を収穫しようとしている。 【関心・意欲・態度】 ・収穫した野菜の利用方法を、本で調べたり、人に聞いたりして考え、友だちと相談しながら決めている。 【思考・表現】 ・みんなで育てた植物の成長や変化の様子に気付くとともに、みんなで協力して世話をしてきたという、自分たちのよさに気付いている。 【気づき】
<p><u>野さいのことを つたえよう②</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった人には、お礼の手紙などで表現してもよい。 ・これまでの記録カードを見直し、そのときの思いを表現できるようにする。

- 記録カードなどを材料に、友だちと話し合いながら、これまでの栽培のことを振り返る。
- 自分の感想や考えを加えて、新聞などにまとめて、お世話になった人などに伝える。

にする。

- ・これまでの栽培活動を振り返り、伝える相手のことを考えながら、伝えることを選んで作品に表現し、友だちや、家の人に伝えている。
- 【思考・表現】**
- ・育てた植物によって、変化や成長の様子が違うことに気づくとともに、自分が栽培してきたことが友だちや家の人に伝わる楽しさに気付いている。
- 【気付き】**

5 本時について

(1) 本時目標

○作りたい料理を話し合うなかで、サツマイモパーティーのために、自分たちでできる料理を見つけることができる。

(2) 本時展開 (10 / 14)

学習活動	指導上の支援・留意点・評価 (◇)
<div data-bbox="181 651 770 714" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>サツマイモりょうりのけいかくをたてよう</p> </div> <div data-bbox="129 730 852 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○どんなサツマイモ料理があるのかな。調べてきたことを発表してください。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・焼き芋 ・大学芋 ・さつま汁 ・サツマスティック ・スイートポテト ・茶巾絞り・レモン煮・・・ <p>○自分たちで作れるサツマイモ料理について話し合しましょう。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>スイートポテト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園で作ったことがあるよ。 ・おかあさんと作ったよ。 ・簡単そうだったよ。 ・おいしかったよ。 ・去年2年生からもらったよ。 </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>大学いも</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園で作ったことがあるよ。 ・おかあさんと作ったよ。 ・給食に出たよ、おいしかったね。 ・油を使うよ、大丈夫かな？ </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>さつまじる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園で作ったことがあるよ。 ・おかあさんと作ったよ。 ・いろんな野菜が入っていたよ。 ・ほかの野菜はどうする？ ・給食にでたよ。 </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>やきいも</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園で作ったことがあるよ。 ・おばあちゃんの家で作ったよ。 ・ストーブの上でやいて食べたよ。 ・おいしかったよ。 ・焼くのに時間がかかったよ！ </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ちやきんしぼり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園で作ったことがあるよ。 ・作り方は、スイートポテトにしているね。 </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>サツマスティック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園で作ったことがあるよ。 ・おかあさんと作ったよ。 ・好きな人が多いからこれがいいな。 ・簡単そうだったよ。 ・おいしかったよ。 </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>レモン煮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で作ったことがあるよ。 ・甘くておいしいよ。 </div> </div> <p>○今日のふりかえりをしましょう。</p> <p>○次の学習課題について話し合う。</p>	<p>指導上の支援・留意点・評価 (◇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までのことを振り返り、学習意欲を高められるようにする。 ・サツマイモ料理のしかた・材料・時間など簡単に発表させる。 ・自分たちでできる料理とできない料理を明らかにする。 (時間のかかるものや安全面での問題) ・大学芋やサツマスティックは、油で揚げるので避けたい。 ・焼き芋は、校庭で活動の場合は避けたい。ただし、電子レンジや焼き芋専用の鍋など、室内で調理できる物は調理してもよいものとする。 ・子どもの考えをわかりやすく板書し、考えの共通点や相違点を明らかにする。 <p>◇調理方法を、友だちと相談しながら決めている。【思考・表現】 (発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間があったら次の学習課題を決める。

7 実践を終えて

(1) 子どもとともに学ぶ学習展開

生活科の学習では、子どもの「思い」や「願い」を大切にしながら、具体的な活動や直接体験を中心とした活動を工夫していき、子どもが主体的に学習や生活に取り組めるようにしていきたいと考えている。そのために、本単元では、具体的な活動や直接体験の6つの条件を考えながら、学習展開を考えた。

- ア 子どもの生活と直接つながりがあるもの。
- イ 子どもが興味を持ち、意欲的な取り組みが期待できるもの。
- ウ 子どもの能力に適したもの。
- エ 子どもが五感を通して活動できるもの。
- オ 子どもが自分との関わりを見つけていけるもの。
- カ 子ども自身の手で連続・発展させていけるもの。

2年生になって、生活科で何を学習していくのか子どもたちと話し合った。1年生の時の生活科のことを思い出しながら、「がっこうたんけん」「おてつだいだいさくせん」などいろいろ出た。その中の一つに「しょくぶつをそだてたい」「1年生のときは、花を育てたけれど、2年生が、野菜を育てていたの、私たちも、野菜を育ててパーティーを開きたい。」という願いがでてきた。そこで、野菜の栽培計画を立てた。図書室や、家から本をもってきたり、家の人に話を聞いたりして、野菜の育て方を調べた。各自鉢に育てたい野菜の苗と学級園にサツマイモを植えて、観察や、世話をした。収穫した野菜は、家で調理をして食した。

秋にサツマイモを収穫し、それをどうするか、みんなで話し合った。「つるであそびたい。」「リースを作りたい。」「おいもではんを作りたい。」「調理をしてクラスで食べたい。」「クラスだけでなく、お世話になった人たちにも食べてもらいたい。」「去年、2年生からもらったので、1年生を招待して一緒にパーティーをしたい。」などいろいろな思いや願いがでてきた。そして、きっと1年生も2年生になったら、同じことを考えるだろうという意見がでて、1年生を招待して「サツマイモパーティー」を開くことになり、計画を立てることになった。「サツマイモパーティー」は、自分たちが育てて収穫したサツマイモを料理して、食べてもらうこと。サツマイモの育て方の紙芝居を作って、育て方を知ってもらうこと。国語の音読劇「お手紙」を見てもらうこと。1年生に楽しんでもらうためにゲームと一緒にすることに決まった。そこでメインの料理の計画を話し合うことになった。子どもたちに聞くと、たくさんの料理名が上がり、親と一緒に作った子、園で作った子など経験者が多くいた。しかし、作ったことはあるが、詳しい料理方法は分からないので、図書室や、パソコンで調べようということになった。作りたい料理の資料が難しかったり、見つからなかったり、なかなか先に進まなかった。ちょうど、給食に「さつま汁」が出されたのを覚えていた子たちが、栄養士の先生にきくと分かるのではないかと、聞きに行った。また、家で聞いたり、調べたりして、11種類の料理方法を知ることができた。今度は、自分たちがどの料理を作るのか、話し合うこととなった。1つの料理をみんなで作るか、作りたい料理をそれぞれ作るか、問題になった。「せっかく調べたから。」と「いろいろなものを作って、みんなで味見をしたい。」という願いが強く、作りたい料理ごとのグループで作ることに決まった。本時では、①作る料理の時間は45分で仕上がるもの②生物・油で揚げ物③大量に火を使うもの(バーベキューみたいなもの)は学校では料理できない。という条件があるので、自分たちでできる料理は、何があるのかを話し合う学習となり、ここで、「ひびき合い」があると考えていた。発問が適切でなかったため、知っている料理名を発表する場になってしまった。発問をしておいてから、料理方法を発表してもらい、自分たちでできる料理は、何があるのかを話し合うことができた。話し合いの場では、「芋羊羹」「焼き芋」「大学芋」が作れないと意見を出した子どもに対し、工夫すれば、時間が短縮できるのではないかと意見が出て話し合いがまとまらなかった。この時間で、自分たちでできる料理方法を決めるには至らなかった。しかし、子どもたちは、料理方法を話し合うことで、一つの料理でも作り方がいろいろあること、工夫することによって時間が短縮されることに気付くことができた。例えば、「焼き芋」はできないと思っていたが、うすく切ってバターをのせてアルミホイルに包みフライパンで焼くと時間内で大量に火を使わずに作れること、サツマイモパイは、パイシートを市販のものを使うと簡単に時間が短縮されるなど。初めの話し合いのときには、ただ作りたい料理を決めれば作れると考えていた子が多く切実な問題とはとらえることはできなかった。

<成果と課題>

3つの条件が出された時、「作れなくなる。」「どうしよう。」「作りたい。」という切実な思いから、それを満たすためにどうしたらよいか考えて、調べたり、家の人に聞いたりしてきた。そして、料理を絞る中で、「おかあさんが、こうするとはやくできるって言っていたよ。」「お湯をいっしょに沸かしておくといいんだって。」などの意見の交換がみられた。「サツマイモパーティー」と名付けて、クラスが一つの目的に向かって会を開こうとがんばり、また、ボランティアの方の支援を得て、成功させることができた。1年生とのふれあいをもつことで、多くの友だちのわが広がり、人とのかかわりが深められた。一人一人を見とった授業展開をするには、座席表の活用とふりかえりの活用が必要であるが、あまり活用できなかった。この経験を踏まえ今後は座席表やふりかえりの活用を図っていきたい。